

医療の質向上・安全推進センター（QSセンター）

1. スタッフ（平成29年4月1日現在）

センター長（医師）	○新保 昌久（専）
副センター長（医師）	○南 孝臣（兼）
副センター長（医師）	佐久間康成（兼）
副センター長（医師）	小林 高久（兼）
副センター長（看護師）	渡井 恵（兼）
看護師	◎寺山 美華（専）
看護師	◎竹野井さとみ（専）
教授	河野龍太郎（兼）
医師	渡邊 俊司（兼）
医師	高橋 詳史（兼）
医師	薄井 佳子（兼）
講師	鈴木 義彦（兼）
講師	浅田 義和（兼）
助教	前田 佳孝（兼）
臨床工学技士	進藤 靖夫（兼）
薬剤師	○中澤 寛仁（兼）
薬剤師	◎吉岡 崇幸（専）
事務	7名

- ◎ 専従医療安全管理者
- 医療安全管理者

2. 医療安全対策部の特徴

附属病院で発生する医療安全上の諸問題について組織横断的に対応する為に、平成15年に医療安全対策室が設置された。医療安全対策室は病院長直轄組織として、専任の看護師や事務職員を配置し、院内で発生する種々の問題に対応する。具体的には院内報告制度の整備、職員教育機会の提供、事例分析、院内巡視、有害事象後の対応などの活動を行ってきた。

しかしながら、医療安全問題に対するニーズは社会的にも非常に高まっており、医療安全対策部の業務内容も、多様でかつ増加の一途を辿っている。

平成16年に医療安全対策室を医療安全対策部として組織改編を行い毎年更なる活動の充実を図っている。

医療安全・患者安全を確保する為には、附属病院内の安全文化の醸成が重要である。これは職員の意識と行動を変えていくことであり、毎日の粘り強い努力の結果として達成できるものだと考えている。

医療安全対策部では、附属病院職員が安全で質の高い医療を提供することで、患者・職員双方にとって信頼のできる病院となるような環境作りを目指している。

3. 実績・クリニカルインディケーター

●業務内容

- (1) 医療安全に関する情報収集、分析、改善策の立案、周知、評価
- (2) 医療安全対策の提案・情報提供（啓発活動）
- (3) 職員に対する教育（講演会、研修会の開催）
- (4) 紛争事例への対応（経営管理課、総合相談室と連携）

●平成28年のおもな活動実績

(1) 医療安全策講演会（全職員対象）

①医療安全講演会

・開催日 6月8日

演 題 「インシデント報告の意義について」

さいたま医療センター 遠山 信幸

参加者 1,174名

②安全塾

・開催日 9月5日

演 題 「輸液・シリンジポンプの中央管理について」

臨床工学部（医療機器安全管理責任者）

進藤 靖夫

「研修管理とe-ラーニングシステム totaraの紹介」

医療情報センター 浅田 義和

参加者 1,140名

③医療安全・感染合同講演会

・開催日 10月20日

10月31日（DVD上映会）

11月1日（DVD上映会）

演 題 「医薬品の安全管理について」

薬剤部（医薬品安全管理責任者）

中澤 寛仁

「医療安全～最近の事例から～」

医療安全対策部 新保 昌久

参加者 1,959名

④医療安全講演会

・開催日 11月30日

演 題 「メディエーションについて」

武蔵野赤十字病院 河上 章恵

参加者 682名

(2) 医療安全に関する研修会

1月・中途採用者・復職者対象オリエンテーション

2月・研修医3部門（医療安全・感染・医療情報）

合同セミナー

・中途採用者・復職者対象オリエンテーション

- 3月・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 4月・新人職員オリエンテーション
 - ・新人研修医ケースディスカッション
 - ・新人研修医シミュレーション研修
 - ・新人研修医リスクマネジメント演習
 - ・新人研修医CV研修会
 - ・新人看護師研修会
 - ・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
 - ・中心静脈カテーテル挿入認定講習会
- 5月・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 6月・AED研修会
 - ・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 7月・小型シリンジポンプ研修会
 - ・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 8月・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 9月・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 10月・中心静脈カテーテル挿入認定講習会
 - ・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 11月・中途採用者・復職者対象オリエンテーション
- 12月・中途採用者・復職者対象オリエンテーション

(3) 医療安全に関する主な技術研修

- ①中心静脈カテーテル挿入
- ②レジデントオリエンテーション
 - 点滴・採血等の演習
 - 医療安全に関する講義
 - 輸液・シリンジポンプの使い方
- ③新人看護職臨床研修
 - 看護基礎技術
- ④エコー下中心静脈カテーテル挿入
- ⑤心肺蘇生・AED研修(新人)

(4) 医療安全管理指針、マニュアル改正等

- ①医療安全管理指針(一部改正)
- ②リスクマネジメントマニュアル(ポケット版)第7版

(5) あんぜん便り・安全情報

- ①誤った患者への輸血
- ②パニック値の緊急連絡の遅れ
- ③2015年に提供した医療安全情報(機構)
- ④三方活栓の取扱い時の注意について
- ⑤人工呼吸器回路の表示方法の変更
- ⑥中心静脈カテーテル抜去後の空気塞栓症
- ⑦抗凝固剤・抗血小板剤の再開忘れ
- ⑧与薬時の患者取り違え
- ⑨外観の類似した薬剤の取り違え
- ⑩シリンジポンプの薬剤料や溶液量の設定間違い
- ⑪薬剤名表示がない注射器に入った薬剤の誤投与
- ⑫経鼻栄養チューブの誤挿入
- ⑬抗リウマチ剤メトトレキサート製剤の誤投与

(過剰投与)について

- ⑭ダブルバッグ開通忘れ
- ⑮呼吸器回路交換時の確認

(6) 検討、改善事項等

- ①内視鏡処置事例の検討
- ②転院調整に難渋している症例
- ③血液型判定の困難な症例
- ④造影剤CT施行時の血管確保
- ⑤気管切開時の対応
- ⑥CT読影結果の確認
- ⑦腹腔内チューブの抜去困難事例
- ⑧術後出血事例
- ⑨夜間の急変事例の対応
- ⑩手術における体内遺残時の対応
- ⑪CD-Rからの画像データ取り込みの患者間違い

(7) 院内横断的活動

- ①ICT活動
- ②呼吸ケアチーム活動
- ③外来化学療法ワーキンググループ活動
- ④委託業者との連絡会

(8) 医療安全対策委員会(委員19名)

毎月1回 第2火曜日

(9) リスクマネージャー会議

隔月1回 第3木曜日

(10) ワーキンググループ活動

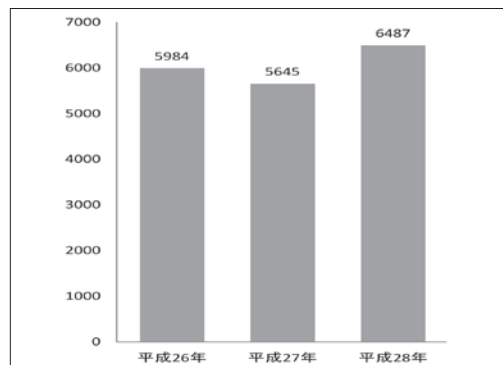
- ①VTE予防対策
- ②院内急変時対応
- ③中心静脈カテーテル
- ④転倒転落
- ⑤気管切開安全対策

(11) モーニングカンファレンス

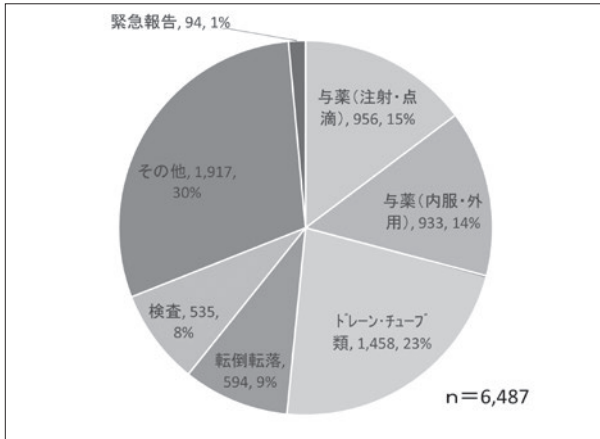
毎週水曜日

(12) インシデントレポート

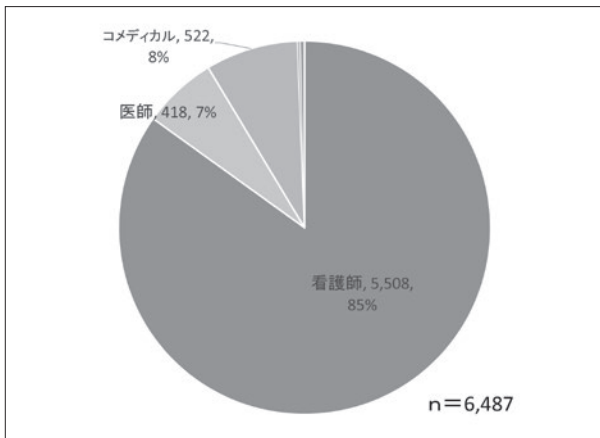
- ①報告件数比較 (平成26年～28年: 1～12月)



②平成28年 種類別報告一覧



③平成28年 職種別報告一覧



(13) 医療機能評価機構患者安全推進協議会との連携

- ・事例報告
- ・研修会の参加

(14) 社会、他の医療機関等に対する貢献

- ・講師として患者安全・医療安全・医療の質に関する情報の提供

4. 2017年の目標・事業計画等

従来の業務に加え来年は以下の諸事項を目標としている。

- ①インシデント報告の意義（特にヒヤリハット＝レベル0）に関するさらなる啓発と、分析・フィードバックの強化
- ②院内巡視の質改善とフィードバックの強化
- ③QSマネージャー（旧リスクマネージャー）の位置づけ、業務の確立と教育の強化
- ④院内マニュアル等の周知状況確認、および医療安全講習の学習効果判定のためのe-learningの導入
- ⑤多職種合同による新人・若手職員に対する医療安全教育研修の向上
- ⑥インフォームドコンセント（IC）の質的向上に資す

る院内ルール、業務フローの見直し

⑦医療事故調査制度の理解向上と実働に向けた訓練の実施

⑧院内統一マニュアルと各部署マニュアルの整合性再確認

これらの目標達成へ向けての努力と並行して、病院内での横断的なコミュニケーションが円滑に進むように支援していきたいと考えている。